

かぜ・インフルエンザ・感染性胃腸炎のちがい

	普通のかぜ	インフルエンザ	感染性胃腸炎
原因のウイルス	アデノウイルス、レイノウイルス、コロナウイルスなど 200 種類以上	インフルエンザウイルス (A 香港型, A ソ連型, B 型, 新型)	ロタウイルス, 腸管アデノウイルス, ノロウイルス (冬季はほぼノロウイルス)
初期症状	鼻・喉の乾燥, くしゃみ	突然の発熱, 倦怠感, 頭痛, 咽頭痛	腹痛, 気分が悪い
症状	咳, 鼻水, 咽頭痛, くしゃみ, 鼻づまり, 微熱など	発熱, 倦怠感, 頭痛, 咳, 鼻水, 咽頭痛, 関節痛など	吐き気, 嘔吐, 腹痛, 下痢, 発熱, 胃の痛みなど
熱	37 度前後	38～40 度が 3～4 日	微熱が 1～2 日程度
潜伏期間	数 日	感染後 1～2 日	感染後 1～2 日
感染力	弱い	強い	強い
感染経路	飛まつ感染, 経口感染	飛まつ感染	経口感染。飛まつ感染 (症状回復後 2～3 週間に渡りふん便中にウイルスを排出し続ける。)
予防方法	ワクチンなし ・手洗い・うがい・マスクの着用, 睡眠, 休養	ワクチン接種 (H27～4 種混合) により重症化を防ぐ。手洗い・うがい・マスクの着用, 睡眠, 休養	ワクチンなし ・手洗い・うがい・マスクの着用, 睡眠, 休養

感染予防のための対策

- ・手洗い・うがい, 手の消毒 (特にトイレの後, 給食前)
※ アルコール消毒はインフルエンザには効果があるが, 感染性胃腸炎には効果がないので, 石鹸を使用しよく手を洗うことで両方の予防になる。
- ・咳エチケットの励行: マスクの着用 (個人で用意)
- ・規則正しい生活 (朝食・睡眠・栄養)
- ・休み時間の換気 (休み時間ごとに窓を開ける)

インフルエンザ, 感染性胃腸炎にかかってしまったら

インフルエンザ・・・出席停止。登校許可が出たら「治癒証明書」を提出してください。

出席停止基準・・・「発症後, 5 日を経過し, かつ解熱後 2 日を経過するまで」H24, 4～法改正

感染性胃腸炎・・・学校感染症第 3 種, その他の感染症。条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる感染症。